

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発！

# 月刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）  
電話：（鉄電）千葉 2935・2939番  
（公）043（222）7207番

2000.7.28 No. 5/72

七・一九一一三

## 現地闘争貫徹

家から出てきて  
デモ隊を激励！

千葉機関区支部 宮内正志

七月二一日の沖縄サミット反対闘争を中心とした今回の沖縄現地闘争は、動労千葉から三名が参加しました。私たちは、反戦共同行動委員会の一員として最後まで元気よく闘争に参加してきました。

### 闘争日程の経過

19日 一八時過ぎに沖縄・那覇空港に到着し、反戦共同行動委員会と合流

20日 一時頃、嘉手納基地の「安保の見える丘」に到着

四時からの嘉手納基地の周りを「人間の鎖」で取り囲む（周囲一四・七回）行動の準備。一四時、一四時三〇分、一五時の三回行なわれ、三回目に「人間の鎖」がつながる。大成功！二七〇〇〇名の参加！

21日 一〇時より名護市で「サミット粉碎集会」を行い、その後名護市内をデモ行進（六五〇名参加）。一五時より国道五八号線

よりサミット会場に向かってデモ。

22日 一三時二〇分より宜野湾市で普天間基地への抗議集会とデモ。

一八時より、反サミット実行委員会主催の集会が行なわれ、その後、沖縄県庁前広場から国際通を通じて首里城に向かってデモ。

闘争終了後、沖縄交流センター主催の交流会に参加。一時過ぎに那覇空港を後にする。

以上のとおり、かなり強行日程ではありましたが、集会では動労千葉から二回の発言の機会があり、大きな喝采をあびました。

嘉手納基地を包囲二万七千人で

沖縄サミット反対！

明らかです。

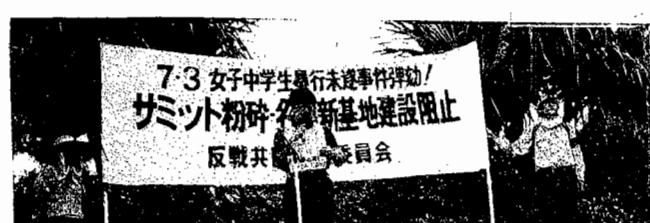
こうした中で、七月二〇日、「人間の鎖」による嘉手納基地包囲行動は、主催者の予想を大きく上回る二七〇〇〇人が参加し、基地の周囲を一人ひとりが鎖となって取り囲むことに成功しました。参加した私たちも非常に喜びあいました。二〇日のマスコミ報道はこの包囲行動のことでもちきりでした。このことでもちきりでした。この嘉手納基地包囲行動の成功が、その後のサミット反対行動に勢いを付けたことは間違いないありません。

沖縄は、沖縄戦で六〇万人いた県民の内二〇万人の人たちが

「戦死」しているという県であり、戦争反対の意識が非常に強いところです。私たちが「サミット反対」の掛け声を挙げて名護市内をデモ行進している時も、家の中から老若男女を問わず出てきて、デモ隊を激励するといふことがあちこちで起こり、猛暑の中でデモを行なう私たちの励みになりました。

私は、これが沖縄の人たちの本当の気持ちなのだと痛感しました。

沖縄の歴史をもつと学び、沖縄の人々との連帯をさらに強くし、また沖縄での闘いに参加したいと思います。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！